

## 熊本日日新聞 読者の広場

令和2年4月15日掲載

### 苓北町立苓北中学校 教諭 中本武蔵

3年前、勤務地が天草の御所浦町に決まった。御所浦は、県内唯一の離島の町である。私は、地元が天草だが御所浦を訪れたことはなかった。どんな町なのか、どんな生徒がいるのか、島での生活は大丈夫だろうか。期待と不安を持ちつつ、島への引越しの日を迎えた。職員住宅には、すでに20名近くの生徒が待っており、引越しの手伝いをしてくれた。「ありがとう」とお礼を言うと、彼らは「当たり前です」と答えた。

それから2年後、体育大会当日は雨。早朝の態度決定では、体育館での短縮プログラムで行うとの判断が下された。プログラムが進んでいく中、突然PTA会長から「先生、外でやりましょう！」と言われた。グラウンドを見に行くと、保護者が協力して水抜き、整備、ライン引き、テント整備を行っていた。雨があがったのを確認し、順番を変更して、応援団やリレーなど出来る限りのプログラムを行った。体育大会後、保護者にお礼を言うと、返ってきた言葉は「子どものためだけじゃない！」

人のために自然と行動することが、当たり前になっており、それが島全体に浸透していることに、この島の温かさと素晴らしさを感じた。